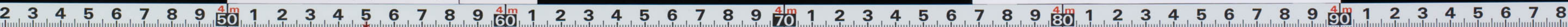




農具解説群馬県 一冊 001

神奈川大学日本常民文化研究所 所蔵





農具解説

群馬県



神奈川大学

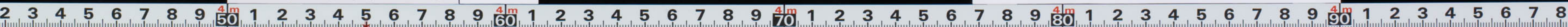
日本常民文化研究所

農具解説群馬県

一冊

002

神奈川大学日本常民文化研究所 所蔵





図解

第一号

此器ハ犁鑿鉞ヲ以テ田畑ヲ初耕再耕セシ後大塊ヲ細ホニスルニ支用ス

第二号

此器ハ諸耕作実リシヲ刈取及ヒ肥料ニ供スル雜料ヲ刈採ル器ナリ

第三号

此器ハ田面及ヒ用水路オ床下ケ畦畔ヲ掘リ或ハ畦ヲ塗り都テ鑿穿ニ用ウル器ナリ

第四号

此器ハ播種ニ臨ミ畑面ヲ再耕其土ヲ平和セシ後作ヲ立時種発生ヨリ作切ト称シ再三畝切ニ用ウル器ナリ



神奈川大学
日本常民文化研究所



第五号

通称 トウハ代價凡金八拾五錢
此器ハタタ開墾地へ用ク本根紫根等ヲ掘取ル器ナリ

第六号

通称 搔万能ハチマシノウト訓ス
此器ハ水田土敷深クテ馬力難用場所腕力ヲ以テ初耕
再耕ニ用ウル器ナリ代價凡六拾五錢

第七号

通称 巾太鋤或ハ九六鋤ト云フ
此器ハ熟田耕作ニ用ウルサナシ荒蕪芝地等ヲ開墾ニ
用ウル器ナリ代價凡金五拾四錢

第八号

通称 棒万能ボウマンノウト訓ス
此器ハ田面ヲ初メテ耕起シ其後再び耕シ土ヲ細末ニス
或ハ鹿馬ノ踏下藁ヲ運出シ藁ホ葉等ノ肥返シニ用ウル代
價凡金七拾錢

第九号

通称 イグハ或ハモグリトモ云フ

此器ハ馬力ヲ不用一人ノ腕力ヲ以テ田畑ヲ鋤起
ル器ナリ代價凡金六拾五錢

第十号

通称 大分ハ代價凡金九拾錢
此器ハ馬力ヲ以テ田畑ヲ初メテ耕起スニ用ウル
器ナリ

第十一号

通称 塊毀
此器ハ播種蒔秧ニ際シ田畑ノ土ヲ平和
用ク

第十二号

通称 コギリカマ代價凡金八錢
此器ハ諸耕作ノ実リシヲ刈取ニ用ウル最モ手輕ニシテ研
ヲカケズニ用ウル故ニ多ク婦人小兒ボノ用ウル所ナリ

第十三号

通称 トウミ代價凡金四圓
此器ハ米稈糠糠オヲ種別スル器ナリ
甲ハ 増立タル紐ヲ入ルコナリ



乙ハ 純米ヲ出スロナリ
丙ハ 秣糲ノ出ルロナリ
丁ハ 糠芥ヲ去ル

第拾四号

通称カラウス或代價凡金貳圓五拾錢

此器ハ 穀粟黍稷ノ如キヲスリ夕テ糠ヲ去ルニ用ウル器ナリ

第拾五号

通称畔捨代價凡金四拾錢

此器ハ 畑畔ノ草ヲ橙キ除クノ器ナリ

第拾六号

通称山刀鎌代價凡金拾七錢

此器ハ 田圃ノ畦畔ニ生立セシ樹木ヲ材拂ノ器具ナリ

第拾七号

通称鉄熊手代價凡金六拾錢

此器ハ 穀物草類ノ肥料ヲ作ルニハ是ヲ以テ顛覆シ或ハ馬踏肥ヲ橙キ出スニ用ウルナリ

第拾八号

通称麦篠代價凡金三拾錢

此器ハ 米麦ゴノ粒ト穂トヲ區分スルノ器具ナリ

第拾九号

通称箕代價凡金廿二錢

此器ハ 穀類ヲ極イ運搬シ或ハ糞ト塵埃トノ吹キ分ケオニ用ウルナリ

第貳拾号

通称塊打代價凡金廿五錢

此器ハ 耕地ノ塊ヲ打碎クノ器具ナリ

第廿壹号

通称桑伐鎌代價凡金八錢五厘

此器ハ 桑ヲ伐採スルニ用ウルナリ

第廿貳号

通称鶴嘴代價凡金壹圓廿五錢

此器ハ 土中ノ石ヲ掘出スル器具ナリ

第廿三号

通称鋤代價凡金五拾五錢

此器ハ 田ヲ翻反スルノ器械ニシテ馬力ヲ以テ挽カセ俗ニ尻



神奈川大学
日本常民文化研究所



取ト唱フルモノ馬尾ニ附キ該器械ヲ能キ程ニ土中へ差込
ミ馬尾ノ運動ニ随ヒテ勸及スルモノナリ

第廿四号

此器ノ用方ハ其高サ凡ソ二尺程ニ横木ヲ構ヘ是ニ結付ケサ
シツテ扱テ穂ヨリ粒ニナスノ器具ナリ

第廿五号

此器ハ四面ノ如ク程能キニ組立テ上部ナル穀入ニ搗米
麦ヲ入レ是ニ掛ルヤハ糠并ニ碎ケ米麦ノ如キハ舂徒ノ網
目ヨリ減レ区分ヲナス或ハ玄米ト穀トヲ區別スルモ組立
方法ノ急緩ニヨリテ自由ニ用テラルモノナリ

第廿六号

此器ハ煉鉄製水ニテ又先中四寸横吉尺同製七本ノ鉄ヲ
骨トナシ之ニ竹ヲ編付ル柄吉尺八寸ヲ大法トス開弁及田

第廿七号

畔畑畦溝導水ノ泥土ヲ浚フニ供フ之ヲ尺ハト云
此器ノ製造ハ概畧前ニ同シ唯竹ヲ編付ルヲ板ニ代

第廿八号

此器ノ製ハ前ニ同シ長六寸柄三尺五寸荒地開墾田畑
打返シタル土塊ヲ破碎スルニ用ウ

第廿九号

此器ノ製ハ前ニ同シ中三寸ニ長六寸柄三尺五寸湿地ノ田畑
ヲ堀起スニ用ウ

第三十号

此器ハ木ノ葉ヲ捨ニ使用ノ具ナリ又田畑ニ木ノ葉上肥
ボラ捨散スモノナリ



第三十一号

通称ニツ子代價凡金三拾五錢
此器ハ煉鐵ニテ製シ長六寸柄三尺六寸庭肥青草肥オ
ヲ返シ厨肥ヲ出スモ用ウルノ具トス

第三十二号

通称麻鋏代價凡金三拾錢
此器ノ製ハ前ニ全シ及、渡リ三寸釘留ニシテ柄三尺
五寸凡麻蒔込ノ作ハ狭キヲ要スルニ因リ通常ノ
鋏ヲ用ウルニ宜シカラス故ニ専ラ此具ヲ用ウ

第三十三号

通称代鞍シト代價凡金三拾五錢
此器ハ長二尺余厚サ二三寸ニシテ藁葉或ハ麦藁葉オニテ
作り代鞍ニ仕付ケ田畑ヲ搔クニ使用スルノミ

第三十四号

通称荷鞍骨代價凡金七拾五錢
此器ハ通常ノ荷鞍ノ左ノ方ニ早棒ヲ縊付テ早緒繩ヲ付
ル是レ馬ノ三途ニ繩ノ当ラサルヲ要スルカ為ナリ左ノ方ニ早棒
ヲ付ルナシ

第三十五号

通称荷鞍骨
前圖ノ左ノ方早棒ヲ付サル仕方ヲ示スノミ

第三十六号

通称代鞍代價凡金三拾五錢
此器ハ田畑ヲ搔クニ使用ス通常ノ荷鞍骨ノ寸尺ニ全シ唯
異ナル處ハ後口骨ニ長サ七尺ノ曲リ延双方アリ此レニ早
緒繩ヲ結ビ付ケ其先ノ結ビ玉ニ早緒ヲ付ケ又早緒ノ結ビ玉ヲ
馬鋏ノ手グリ孔ニ挟ミ用ウ左右共ニ同シト雖モ右ハ用ナシ
左ハ畦畔際ニ至リ馬首ヲ回サント欲スル片馬ノ三途ニ繩
ノ當ラサル為ナリ

第三十七号

通称早緒代價凡金五錢
此ノ使用方ハ代鞍ノ下ニ説ク藤ニテ作り長凡九寸ヨリ
七尺ニ至ルモノトス

第三十八号

通称早緒繩代價凡金七錢五厘



神奈川大学
日本常民文化研究所



此繩ハ長サ凡ニ丈常ノ荷繩ノ太サニテ藁又ハ皮草ヲニテ造
ル使用法ハ代鞍ノ下條ニ出ス

第卅九号

通称早棒代價凡金五錢

此棒ハ長六尺使用法ハ荷鞍骨ノ下條ニ出ス見合スヘシ
第卅十号

通称鼻取棒代價凡金三錢

此棒ハ長前ニ全シ竹或ハ木ニテ造リ馬ノ轡ニ右ヨリ横
ニ仕付々端綱ニ替ル田畑ヲ搔ク馬ト并ニ立テ畦畔ニ至リ
曳回スハ馬ヲ自由ニ使用スル必用ノ具ナリ

第卅十号

通称胸カヒ代價凡金七錢

此製ハ藁皮草ヲニテ造ル使用通常ノ荷鞍ニ付ルモノ
ト替リナシ長サ五尺

第卅二号

通称腹帶代價凡金七錢

此製及使用前ニ全シ長六尺

第卅三号

通称麦藁シト代價凡金七拾五錢

此器ハ通常ノ荷鞍骨ニ仕付々青草才都テ肥料ノ運搬
用トス是レ雨露雲湿ノ節殊ニ輕便ナリトス

第卅四号

通称カラヤ代價凡金三錢

此ハ竹竿ニテ長サ丈四四五尺田麦蒔付ノ時打返シタル
稻株ノ根土ヲ拂ヒ又稻株ヲ掃寄ルニ用ウ之ヲ用ウルニハ元
ヲ腰ニ挿ミ両手ニテ左右ニ掃寄ルノ具ナリ

第卅五号

通称作繩代價凡金四錢

此器ハ竹又ハ木ニテ株ヲ作り長サ四尺繩ノ長サハ定度ナ
シ田畑ニ随テ畦ヨリ張出シ作引ノ曲ラサル様ニ為スノ具ナ
リ

第卅六号

通称作筋引代價凡金六拾五錢

此器ハ圈ノ如ク木材ニテ作り竹或ハ木ノ釘長尺五寸



神奈川大学
日本常民文化研究所



飛ニ貫キ柄ニ尺六寸ナリ作筋廣狭ナキヲ要スルノ具ナリ之ヲ用充法ハ先ツ作繩ヲ張り其繩筋ヲ此具ニテ引キ其痕ヲ缺ニテ作ヲ為ルナリ

第四十七号

通称肥出ニ鍵代價凡金拾錢

此器ハ自然木ノ枝柯ヲ伐取リテ製ス長サ五尺鍵先一尺余尻肥ヲ搔出スニ用ウ或ハ三ツ子及備中オヲ用ウルモアリ

第四十八号

通称持畚モツコトモ云フ

此器ハ通常ノ繩ニテ造リ長サ三尺五寸巾二尺八寸ノ水或ハ竹ニテ柄ヲ附ルナリ尻肥又ハ塵埃土砂オヲ早キ運フノ具ナリ竹ニテ編タルモアリ代價凡金貳拾錢

第四十九号

通称馬肥持代價凡金壹圓

此器ハ長四尺巾壹尺五寸ノ竹篾ヲ造リ両方ニ繩ノ畚ヲ附ル畚長サ貳尺無繩五寸於ニ以テ助ヲ以テ括リ留メ通常ノ荷

鞍ニ仕付ク尻肥及壁土砂石等ヲ運搬ニ便ス

第五十号

通称肥籠代價凡金三拾五錢

此器ハ竹又ハ篠ニテ造リ径壹尺五寸深サ壹尺貳寸肥料ヲ入れ田畑へ荷ニ運フノ具ナリ

第五十一号

通称天秤代價凡金拾錢

此器ハ前ノ肥糞糞桶オヲ荷擔スニ用ウ長サ五尺二寸

第五十二号

通称脊負畚代價凡金三拾錢

此器ハ通常蓆繩ニテ製シ横三尺深サ三尺五寸大根蕪等ヲオヲ運搬スニ用ウ之ヲ二合セラ馬ニ駄スルモアリ

第五十三号

通称糞桶代價凡金壹圓拾錢

此器ハ深サ壹尺三四寸一荷トナシ田畑へ肥糞ヲ擔ヒ越ス具ナリ

第五十四号

通称肥踏桶代價凡金貳圓

此器ハ径三尺深サ壹尺貳寸穀類蒔込ノ片種ト元肥ヲ踏合ス



神奈川大学
日本常民文化研究所



二供ス

第五十五号

通称肥踏桶代便凡金貳圓

前圖ニ全シ唯桶ノ底ニ繩ヲ付テ脊肩歩行キテ所用ノ田畑ニ運搬スルノ便アルヲ示スノミ

第五十六号

通称目搔筵代便凡金拾五錢

此器ハ長サ六尺中三尺細繩ヲ締トシ藁ヲ經ニ織リ両端ヲ搔キ留タルモノナリ使用法筵ト同シ

第五十七号

通称搔筵代便凡金六拾錢

此器ハ長サ八尺ヨリ九尺中六尺通常繩ヲ締ニ藁ヲ經ニ編テ造リタルモノナリ穀類投入ノ際敷物トス凡諸穀類乾テヲ要スル者ハ一切之ヲ用ウ

第五十八号

通称磨臼代便凡金壹圓三拾錢

此器ハ徑リ壹尺大々四寸上下共ニ同シ軸ハ曲リホニテ作ル

第五十九号

通称肥取代便凡金拾錢

長凡壹尺穀類ヲ挽キテ粉ヲ製ス二人或ハ一人ニテモ使用
前圖踏桶ノ肥ヲ時桶ニ移シ入ルノ器ニシテ曲物及ヒ板造
ニ種アリ

第六十号

通称肥取代便凡金拾錢

前ニ同シ唯曲物ノ形ヲ示スノミナリ

第六十一号

通称肩掛代便凡金四錢

此具ハ前圖ノ時桶ヲ抱ヘ留ルモノニシテ適宜ニ結ヒ右ノ肩ヨリ斜ニ左ヘ掛ケ之ニ彼ノ時桶ヲ掛ルナリ藁或ハ皮草類ニテ造ル長サ五尺許ナリ

第六十二号

通称糞桶代便凡金三圓

此器ハ徑壹尺深サ貳尺四寸附ヲ以テ壹駄トナス

第六十三号

通称樽輦代便凡金九拾錢



此器ハ大ニ尺横ニ尺二寸常ノ荷鞍ニ掛テ糞樽ヲ貯シテ運
輸スノ具ナリ

第六十四号

通称糞堀棒代價凡金四錢

此器ハ糞尿溜ホヘ他ノ肥料ヲ混和シ攪化スルニ供スル具
ニシテ柄ノ長サ六尺五寸

第六十五号

通称脊中當代價凡金七拾五錢

此器ハ大ケニ尺ヨ葉ニテ編ミ名モノニテ両股結ヒ留テ伸縮
ヲ自在ナラシム使用脊負子ト同シ

第六十六号

通称脊負子代價凡金五拾錢

此器ハ大ケ四尺横丈尺葉繩オラ巻キ後ニ荷繩ヲ附テ底ノ薪
オラカラケ付テ脊負ノ具トス

第六十七号

通称ホノ葉籠代價凡金六拾五錢

此器ハ紐三尺深サ三尺竹ニテ造ル落葉オラ捨入テ脊負ヒ来ル

第六十八号

通称荷繩代價凡金八拾錢

モノナリ後口ノ繩ニテホノ葉ノ籠散セサル様ニ力リ留ルナリ
此繩ハ長サ三丈大ヨリ四丈ニ至ル通常ノ荷鞍ニ付テ物ヲ貯ス
ルノ緒ナリ脊負子ニ附ルハ長サ丈五尺位ナリ皮草或ハシナ
ホ皮「クラ」草葉オニテ造ル

第六十九号

通称目返ミ籠代價凡金三拾五錢

此籠ハホノ葉籠ニ同シク竹ニテ造ル径丈尺五寸深サ同上使用
法概畧ホノ葉籠ニ同シ草青草オラ刈入其他穀類ノ
穀及塵埃オモ運搬スヘシ

第七十号

通称鋸代價凡金壹圓六拾五錢

此器ハ長サ壹尺三寸ヨリ六寸迄柄共ニ三尺柄ニ寸尺ノ月
アリ以テ薪ノ丈ヲ定ムヘシ此具薪ホオラ伐ルニ用ウ
第七十一号
通称斧代價凡金壹圓拾錢



此器ニ大小アリ薪伐ノ用ニ供ス柄長サ三尺

第七十二号

通称山刀代價凡金三拾五銭

此器ハ煉鉄製長サ九寸柄ハ九寸底采ホヲ伐採スルニ用ウ又荒肥草草ホヲ刈ムヘシ

第七十三号

通称越前作代價凡金廿二銭

此器ハ裏又鋼ニ輕ク使用ニ便ナリ諸及片刃ノ別アリ

第七十四号

通称大鎌代價凡金三拾五銭

此器ハ刃長尺中ニ寸五分柄ニ寸五分縁刃及ヒテ草刃ニ用ウ

第七十五号

通称越前鎌代價凡金廿二銭

此器ハ長サ七寸中長寸二分柄ハ一寸片鋼作りテ藪下刃及穀物刃ニ用ウ

第七十六号

通称押切鎌代價凡金廿五銭

此器ハ穀類ノ穀物及肥料ノ青草又ハ荒肥ホヲ刈ムヘシ

ヲ又ハ寸ヨリ長尺中ニ寸五分

第七十七号

通称草引代價凡金廿五銭

此器ハ爪ニ寸五分余柄長尺烟圃畔桑根ホニ生スル草ヲ掻キ取ルモノナリ

第七十八号

通称穂切庖丁代價凡金貳拾銭

此器ハ長サ六寸中長寸貳分穀類ノ穂ヲ切り取り又桑ノ葉打オニモ用ウヘシ

第七十九号

通称薦臺并ハ猿代價凡金三拾銭

此器ハ脚高サ尺七寸膝ホヲニ割ニ作ル横ホ三尺寸間ニ目ヲ盛リ付テ猿薦并ハ編ムノ使用トスハ猿ハホニ長サ止寸中央ニ口糸ヲ付テ編繩ノ中央ヨリニツ折リテ両端ニ結付ケ巻用ルナリ

第八十号

通称筵機脚并猿子代價凡金貳拾



神奈川大学
日本常民文化研究所



此器ハ高サ四尺横四尺糸或ハ繩締ニシテ之ニ葉ヲ織ル又茅ヲモ織ル箴ハ孔七十ヨリ八十ノモアリ其葉ヲ織ルモノヲ延ト云繩ヲ力ヲ織リタルヲ御坐延ト云フ前圖ニ掲ケタル箴ヲ織ルルナリ棧子ハ先ノ鍵ニ引掛ケ元ハ輪線ニハ葉茅ヲ突カケテ差引ニ延ヲ織ルノ具ニシテ通常機ノ梭梯ナリ竹ニテ造リ長サ四尺中ハ分

第八十一号

通称白代便凡金花用

此器ハ丈五尺四寸口徑五尺四寸堅牢ノ木材ヲ以テ彫造ル後圖ノ样ト併セ以テ穀類收入ノ代穂殻ヲ搗去リ皮ヲ去リ及芒類ヲ搗キ去ルニ用ウ

第八十二号

通称杵代便凡金三於五錢

此器ハ長サ五尺六寸ヨリ七寸太サ徑三寸ヨリ六寸柄三尺使用法ハ前ニ記セリ

第八十三号

通称籠竹代便凡金貳圓

此器ハ尺木製ト同シ竹ニテ胴ヲ造リ塩水ニテ壁土ヲ練リ之ヲ竹胴ニ詰メ乾涸セシメ竹或ハ樫ノ齒ヲ打ツナリ使用籠ニ合シ

第八十四号

通称蔴桶代便凡金三於五錢

此器ハ徑五尺深サ五尺之ヲ使用スルハ前ノ蔴入肥ヲ之移シ之ヲ左ノ照へ抱へ蔴付ルナリ

第八十五号

通称竹網代便凡金七圓五於五錢

此ハ第八十六回ノ箱板箱ニ嵌入シ左ノ横口ヨリ板差ヲ自在スヘシ

第八十六号

全上

此器ハ長五尺巾三尺五寸高サ五尺六寸五ノ板仕立ナリ一方ニ板ヲ掻出シロアリテ塵留ノ竹網ヲ差込アリ五枚ノ



神奈川大学
日本常民文化研究所



稻扱ハ自在ニ掛ケ外ニ成ル様作リシモノナリ

第八十七号

通称刀又代價凡金拾五錢

此器ハ長四尺中三四寸本製ニシテ厚ク六分ニ造リ前圍
麦打ニテ打落シタル麦穂ノ莖ヲ打折ノ用具ナリ

第八十八号

通称棒打棒代價凡金拾五錢

此器ハ長四尺五寸ヨリ五尺六寸サ四五寸廻リ穀類ノ穂ヲ切重
ネ之ヲ乾干シ穂穀ヲ打落ス具ナリ其用法棒先ヲ地ヲ摺ル
様ニ後口ヘ廻シ柄ヲ真甲ニ揚テ両手ヲ添テ打落ス之ヲ使
用スル人勞苦最モ多シトス

第八十九号

通称クルリ代價凡金拾錢

此棒長サ三尺余太サ四五寸ノ竹ヲ曲テ柄トシ造ル使用ハ前
但シ棒打棒ニ比スレハ輕便ナリトス

第九十号

通称バイ棒代價凡金七錢

是ハ圈ノ如キ膝ホヲ以造ル長サ貳尺二三寸專ラ蕎麥粒ヲ
穀ヨリ打落シ去ルニ用ウ輕クシテ便ナリクルリガニ比スレハ倍

早ニ故ニ倍棒ノ名アリ

第九十一号

通称麦打臺代價凡金二兩五拾錢

此器ハ長サ六尺中三尺高サ壹尺六寸割竹又ハ細キ丸竹
ホヲ横ニ打付ケ大麦小麦共刳取リタル氏手頃ニ束ネ
之ニ穂先ヲ打當テ落スナリ

第九十二号

通称挿竹代價凡金拾貳錢五厘

此器ハ長六尺麦苅揚ノ氏麦束ヲ向端ニ挿置キ擔フノ具
第九十三号

通称俵口代價凡金三拾五錢

此器ハ深サ壹尺二寸徑壹尺貳寸竹ニテ造リ底ヲ入レス使
用ハ之ヲ俵ノ口ニ差入レ置キ穀類ヲ量リ入ルノ具トス
第九十四号

通称小搗蓆代價凡金拾貳錢五厘



神奈川大学
日本常民文化研究所



此器ハ径七尺二寸深サ三寸麻糸綱目ニ分輪ハ竹ニテ駿河
藤又ハ藁ノ細繩ヲ編ミ作ルモノナリ前圖大擣篭ニテ穀ヲ去
リタルヲ又此器ニテ篩フナリ竹編ミ及針銅アミニテ曲物ニ仕
付タルモアリ図今茲ニ器又使用同一ナリ

第九十五号

通称藁代便凡金三円

此器木製上臼丈ケ七尺式寸径七尺四寸両眼ニ付ル繩三尺
六寸下臼丈ケ七尺七寸二人或ハ一人ニテモ挽ク穀五升ヲ
盛ルヘシ

第九十六号

通称アフリ代便凡金四拾銭

此器ハ長サ五尺中二尺八寸通常ノ茅葉糸縛ノ藁葉筵
オミテ造リタル者ヲ中央ヲ踏シメ両手ニテ鉋ヲ取リ風ヲ
アフリ出シ穀類ノ實ト皮糠小塵オヲ以敷リカルノ具トス
第九十七号

通称ヨリ卷代便凡金五銭

此器柄長サ二尺横七尺脚五寸筵ハ綿糸ヲヨルニ用ウ使用
法先リ柄ヲ膝下ニ挟ミ以茅糸オヨリノ底ヲ又為メニ柄
端ニ挿ミ置クナリ

第九十八号

通称藁打槌代便凡金拾五銭

此器ハ径五寸長サ八寸柄四寸五分片手打ナリ

通称藁打槌代便凡金六拾銭

此器ハ径六寸長サ八寸柄二尺ニアリテ二人相對シテ打
ツナリ

第九十九号

通称藁打槌日据石

此器ハ大木或ハ石ニテモ造ル丈ケ七尺式寸許径七尺式
寸位適宜ナリ据石モ亦大小適意ナリ代便凡金三拾銭
第十号

通称麻引同藁代便凡金三拾銭

此器高サ二寸余丈ケ七尺八寸ナリ巾三寸木曾産ノ櫓ノ木糸



神奈川大学
日本常民文化研究所



マサ板ヲ張合セタルモノナリ麻ノ皮ヲ剥キタルヲ乗テ前ノ麻引
ニテ屑ヲ削リ去ルナリ

第百三号

通称馬鈴薯オロシ

此器ハ板長サ三尺中竜尺オロシ長竜尺五寸中ハ寸銅ニテ
製シ通常ノ山葵オロシノ目ノ如クシ厚サ竜寸許ノ板ニ打付
ケ板ノ両縁ニ小溝ヲ付ケ置ク是ハ薯箱ノ横棧ヲ挿込ムタメ
ナリオロシノ両端ニハ板ニ半月形ノ孔ヲ穿テ摺リオロシ薯ノ
汁糟共ニ下ニ掘置ケ桶ニ溜ルナリ裏ニ脚ヲ付タルハ桶ニ渡
シテ動力カサル為ナリ代價凡金四圓

第百五号

通称馬鈴薯オロシ同箱

此薯箱ハ八寸四方底ナシニシテ横脚ヲ仕付「オロシ」ノ横
溝ニ差込ミ薯ヲ入レ蓋ニ重カヲ載セ竜人ニ人或ハ三人ヲ摺
オロスヲ速ナリトス又水車ニテ仕掛テオロスモアリ全図ヲ

器ノ代價凡金四圓

第百六号

通称麻槌全電代價凡金貳圓五拾銭

此器ハ長ハ尺ヨリ九尺中二尺木材ニテ彫造リ図ノ如ク全
掛渡シ之ニ乾燥セシ麻ヲ載セ釜中ノ熱湯ヲ再々注キ掛
テ干スナリ製麻ノ色沢ヲ増スノミナラス製モ亦容易ナリトス
竈ハ烟除ニ仕付ケ置キ前図ノ麻洞ヲ掛ルニモ用ク

第百七号

通称麻舟代價凡金三圓

此器ハ長サ八尺中竜尺八寸水ヲ盛リ置キ之ニ乾燥ケタル
麻ヲ浸シ之ヲ又別ニ造リ置ク麻所ニ入レ葉屑或ハ薦オ
ヲ覆ヒ置キ温度ヲ与ヘ其皮ノ能ク穀ヨリ剥離スルヲ俟テ麻
所ヨリ出シ皮ヲ剥キ束ネテ此舟ニ浸シ置ク

麻ヲ製スルニハ右ノ如ク浸シ置キタル麻ノ皮屑ノ腐敗スルヲ
以テ舟ヨリ出シ前図ノ麻引臺ニ載テ麻引カヲ以テ



神奈川大学
日本常民文化研究所



引キ制スルナリ

第百八号

通称麻洞代便凡金四両五錢

是ハ青麻ヲ蒸氣ニ掛ル器ニテ長七尺横二尺八寸三方板張
ニテ一方ニ開戸ヲ付ク麻苧取ノ即烟際ニ竈ヲ作リ之ニ釜
ヲ据ヘ付ケ此釜ノ上ニ孔ヲ穿テシ蓋ヲ乗セ其上ニ立テ生麻
ヲ此中ニ入レ戸ヲ鎖シテ蒸スナリ蒸シタル麻ハ乾燥モ速シテ
且ツ美ナリ

第百九号

通称麻釜蓋代便凡金廿五錢

説上解ニ詳ナリ且シク前ト對照スヘシ

第百十号

通称馬鈴薯洗籠代便凡金十二錢五厘

此器徑七尺又深サ七尺許竹或ハ竹條オニテ造リ馬鈴薯
ノ土ヲ洗淨スルニ用ウルナリ

第百十一号

通称馬鈴薯洗籠代便凡金廿五錢

此器ハ常用ノ曲物柄杓ニシテ大ハ徑六寸深六寸柄二尺

第百十二号

通称柄杓代便凡金八錢

此器ハ常用ノ曲物柄杓ニシテ大ハ徑六寸深六寸柄二尺

ハ寸小ハ徑五寸柄一尺八寸加多ク利粉ヲ製スルニ用ユ

ノ二倍或ハ三倍ノ水ヲ混和シ時々攪和シ此器ハ

ニ掛テ一番糟ヲ去ル桶深サ七尺五寸徑八寸位

ニ掛テ一番糟ヲ去ル桶深サ七尺五寸徑八寸位

第百十四号

通称毛竹徒箱桶三尺桶

此毛徒徑一尺深サ三寸余箱桶長四尺ヨリ前図瀝籠
ニ掛ケタル汁ヲ又此毛徒ニ掛テ糟ヲ去リ其汁三尺桶ニ満
レハ二ノ桶ニ箱桶ニテ瀝シ入レ其汁冬日凡十時間ニシ
テ沈澱ス其浮水ノ茶褐色ナルモノハ桶ノ口ヲ拔テ流出
セシメ其上澄ハ泥粉トナル之ヲ薄ヌニテ鋤キ除キテ別

ATC
MUSEUM

神奈川大学

日本常民文化研究所



引キ制スルナリ

第百八号

通称麻洞代便凡金四両五錢
是ハ青麻ヲ蒸氣ハ掛ル器ニシテ長七尺横二尺八寸三方板張
ニテ一方ニ開戸ヲ付ク麻苧取ノ節烟際ニ竈ヲ作り之ニ金
ヲ据ヘ付ク此釜ノ上ニ孔ヲ穿チシ蓋ヲ乗セ其上ニ立テ生麻
ヲ此中ニ入レ戸ヲ鎖シテ蒸スナリ蒸シタル麻ハ乾燥モ速ニシテ
且ツ美ナリ

第百九号

通称麻釜蓋代便凡金廿五錢
既上解ニ詳ナリ且シク前ト對照スヘシ

第百十号

通称馬鈴薯洗籠代凡金十二錢五厘
此器径七尺深サ壹尺許竹或ハ竹條オニテ造リ馬鈴薯
ノ土ヲ洗淨スルニ用ウルナリ

第百十一号

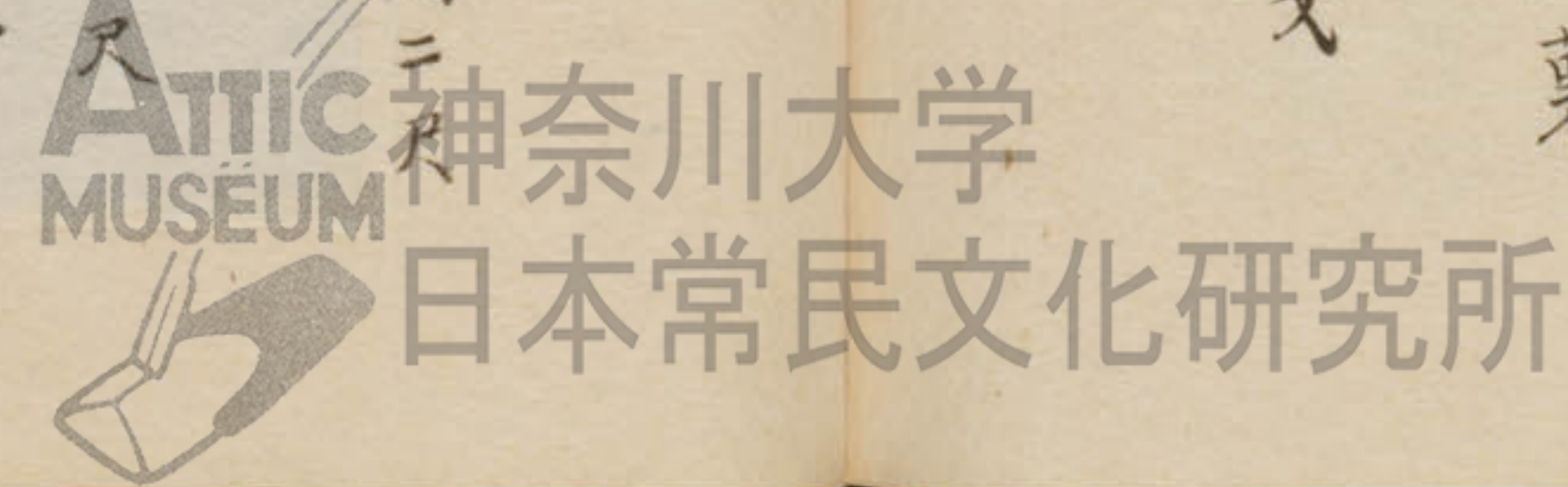
通称馬鈴薯洗籠代凡金拾五錢

第百十二号

此器ハ常用ノ曲物柄杓ニシテ大ハ径六寸深六寸柄二尺
通称柄杓代價凡金八錢
此器ハ常用ノ曲物柄杓ニシテ大ハ径六寸深六寸柄二尺
八寸小ハ径五寸柄壹尺八寸加多ク利粉ヲ製スルニ用ユ
ノ二倍或ハ三倍ノ水ヲ混和シ竹ノサヲニテ攪和シ此乳
ニ掛テ一番糟ヲ去ル桶深サ壹尺五寸径八寸位
ニ掛テ一番糟ヲ去ル桶深サ壹尺五寸径八寸位

第百十四号

通称毛竹徒箱桶三尺桶
此毛徒徑一尺深サ三寸余箱桶長四尺ヨリ前固瀝籠
ニ掛ケタル汁ヲ又此毛徒ニ掛テ糟ヲ去リ其汁三尺桶ニ満
レハ二ノ桶ニ箱桶ニテ瀝シ入レ其汁冬日凡ソ十時間ニシ
テ沈澱ス其浮水ノ茶褐色ナルモノハ桶ノ口ヲ拔テ流出
セシメ其上澄ハ泥粉トナル之ヲ薄ヌニテ鋤キ除キテ別





引キ制スルナリ

第百八号

通称麻洞代便凡金四両五匁

是ハ青麻ヲ蒸氣ハ掛ル器ニテ長七尺横二尺八寸三方板張
ニテ一方ニ開戸ヲ付ク麻苧取ノ節烟際ニ竈ヲ作り之ニ金
ヲ据ヘ付ケ此釜ノ上ニ孔ヲ穿テシ蓋ヲ乗セ其上ニ立テ生麻
ヲ此中ニ入レ戸ヲ鎖シテ蒸スナリ蒸シタル麻ハ乾燥モ速ニテ
且ツ美ナリ

第百九号

通称麻釜蓋代便凡金廿五匁

既上解ニ詳ナリ且シク前ト對照スヘシ

第百十号

通称馬鈴薯洗籠代便凡金十二匁五厘

此器徑七尺深サ七尺許竹或ハ竹條ナリ造リ馬鈴薯
ノ土ヲ洗淨スルニ用ウルナリ

第百十一号

通称馬鈴薯洗籠代便凡金廿五匁

第百十三号

通称濃籠同桶代便凡金七匁五厘

此器ハ常用ノ曲物柄杓ニシテ大ハ徑六寸深六寸柄二尺
ハ寸小ハ徑五寸柄七尺八寸如多ク利粉ヲ製スルニ用
ニ作リ前説ノ摺オロシタル馬鈴薯汁ヲ別桶ニ移シ汁
ノ二倍或ハ三倍ノ水ヲ混和シ竹サハラニ攪和シ此籠
ニ掛テ一番糟ヲ去ル桶深サ七尺五寸徑八寸位

第百十四号

通称毛竹徒箱桶三尺桶

此毛篋徑一尺深サ三寸余箱桶長四尺ヨリ前図濃籠
ニ掛ケタル汁ヲ又此毛篋ニ掛テ糟ヲ去リ其汁三尺桶ニ満
レハ二ノ桶ニ箱桶ニテ濃シ入レ其汁冬日凡ソ十時間ニシ
テ沈澱ス其浮水ノ茶褐色ナルモノハ桶ノ口ヲ拔テ流出
セシメ其上澄ハ泥粉トナル之ヲ薄刃ニテ鋤キ除キテ別

此器ハ常用ノ曲物柄杓ニシテ大ハ徑六寸深六寸柄二尺
ハ寸小ハ徑五寸柄七尺八寸如多ク利粉ヲ製スルニ用
ニ作リ前説ノ摺オロシタル馬鈴薯汁ヲ別桶ニ移シ汁
ノ二倍或ハ三倍ノ水ヲ混和シ竹サハラニ攪和シ此籠
ニ掛テ一番糟ヲ去ル桶深サ七尺五寸徑八寸位



器ニ入ル、泥粉ヲ除彼ノ沈澱シテ雪白ノ如ク多ク利粉トナ
ル者ヲ再ヒ澱メ桶ニ移シ入レ清水ヲ混シ竹サ、ラヲ以テ
攪和シ凝塊ノ軋解スルヲ度トシテサ、ラヲ引キ又十時
間ニシテ沈澱ス再ヒ浮水ヲ去リテ粉ヲ取リ琉球筵或
ハ油紙ニ載テ太陽又ハ火炉ニテ乾燥セシムルナリ代價金
貳圓四拾五圓

第百十五号

通称竹サ、ラ代價凡金拾弍

此器ハ長四尺余九竹ニテ造リ摺方ロシタル薯汁ニ水
ヲ混和シ又澱シテ桶ニ移シ入レタルキ攪和スルノ具ナリ

第百十六号

是ハ第百十四号ノ図解ニ等シ

第百十七号

通称澱メ桶代價凡金壹圓四拾弍

此器ハ経壹尺八寸深ニ尺用法前条ニ詳記セリ

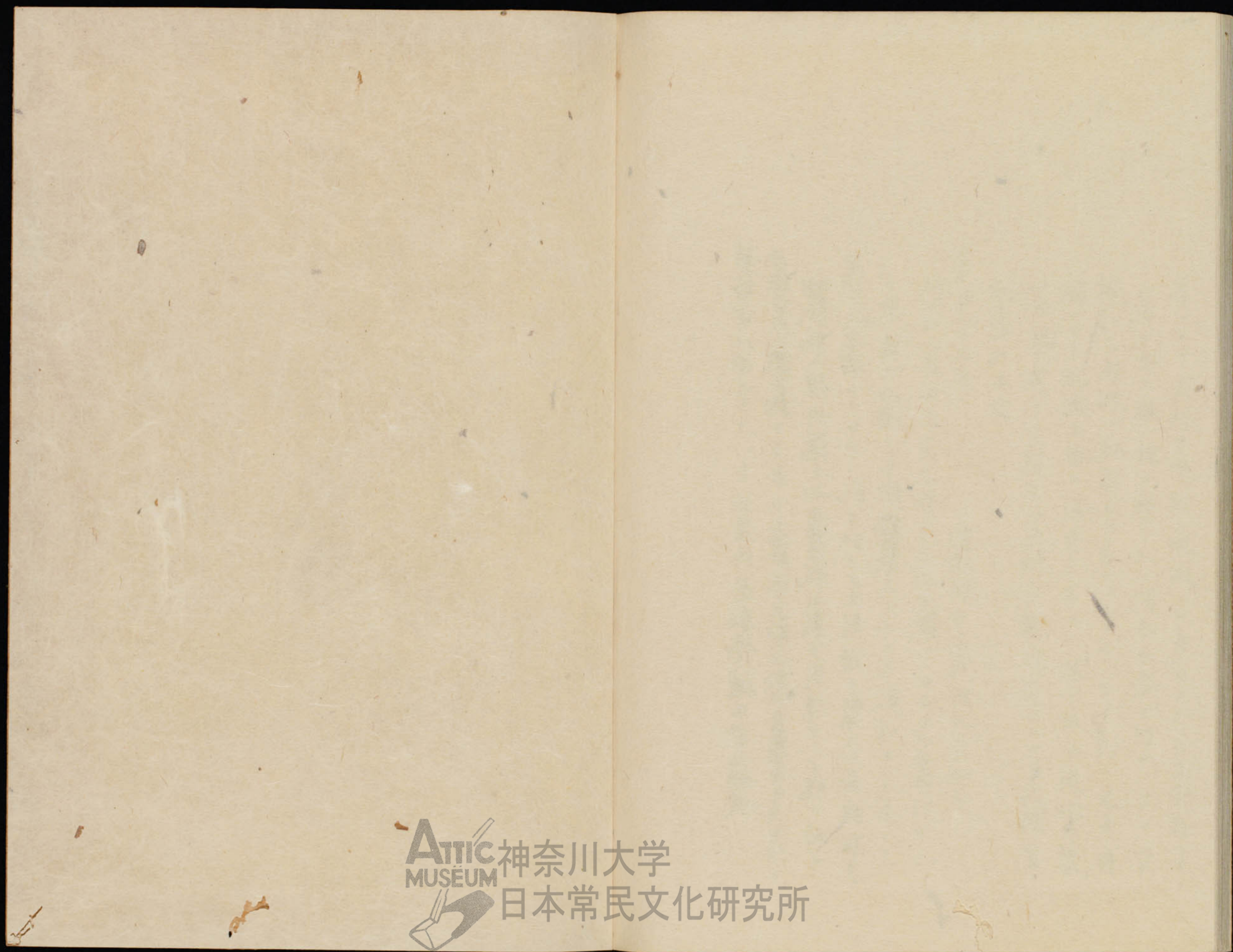
第百十八号

通称筵敷紙代價凡金五拾銭

此器ハ澱メ桶ヨリ出シタル如ク多ク利ヲ初ハ筵ニテ干シ
油紙或ハ程村紙ノ如キ厚紙ニ載テ乾燥セシメ塊ヲ碎キ
加多ク利トナスナリ総テ加多ク利粉ヲ製スル器械数多
ナリト虽凡必用ノ分ヲ記載ス



神奈川大学
日本常民文化研究所



神奈川大学
日本常民文化研究所

農具解説群馬県 一冊 019

神奈川大学日本常民文化研究所 所蔵





Attic
MUSEUM
神奈川大学
日本常民文化研究所

農具解説群馬県 一冊 020

神奈川大学日本常民文化研究所 所蔵

